

消防団員増への取り組み

金澤 克仁 議員

問 現在の消防団の団員数は何名いるのか。

消防長 3月現在で553名の団員数で、全国的に減少している中、市においては積極的な消防団員による加入・促進活動を通じ、この2年間は続けて増加をしている。

問 分団長から、消防団員が仕事や家庭の事情で、一定期間、消防団活動に参加できない場合、休職制度があると分団として団員の勧誘を行いやすいとの話があったが制度はあるのか。

消防本部総務課長 休職制度は設けていない。やむなく活動ができない場合は、身分上、消防団員でいられるように検討していきたい。

問 消防団員には退職時に退職報奨金が支給されるが、休職の期間は勤務年数に算定されるのか。

答 今後、休職の取り扱いをするのであれば、含むものと解釈する。

問 休職制度を設けた場合は、各消防団に周知していただきたいがどうか。

答 事情により活動ができない場合には、再入団するという前提のもとに周知していきたい。

問 小文間地区では分団が統廃合されて運用しているが、これからの分団の統廃合についてどのように考えているのか。

答 消防団は地域に根差ししており、団員も自分たちの地域だという思いが強い。団員を増やす努力もして、実際に増えている。統合の予定はない。



消防ポンプ操法大会の様子

白山八丁目交差点改良後の対策

渡部 日出雄 議員

問 国道294号線の新しい白山八丁目交差点の工事は平成28年3月開通予定であるが、開通までどのような工事が行われるのか。

建設部長 現在は軟弱地盤対策の地盤改良工事中。竜

ヶ崎工事事務所からの話では、終了後に交差点内の舗装工事を行い、歩道整備及び暫定での交差点改良を実施して完了する。

問 新交差点が開通することにより、中央タウンの一部の住民にとっては、交差点が曲がりやすくなるが、国道294号線からふれあい道路を行き交う交通量が増えると予測される。中央タウンの道路沿線の住民にとっては、振動・騒音・交通事故の危険性も高まる。中央タウン連合自治会の中に、この道路ができた場合の対策委員会を設置しているが、事業が遅れたため活動はしていなかった。今後、対策委員会を再開するが、市はこの委員会との協議に参加してもらえるか。

建設部次長 市民の方々からの意見を伺いながらまちづくりを進めていく中で、協議の場には参加していく。

問 交通量が増えたかどうかは、開通前の状況を把握しなければならぬ。開通前の交通量調査を行うのか。また一日だけの調査ではなく、ある一定期間での実施をお願いしたい。

答 竜ヶ崎工事事務所が平成27年度中に交通量調査を行う予定であり、調査の方法も調整を図り要望していきたい。

市内に野球場建設を！

川又 貞男 議員

問 行政視察で他市に訪問した際には、取手二高が過去に高校野球で全国優勝したことから、野球が強いところであるという話が出て誇りに思っている。昨年の夏の高校野球県大会でも市内の高校がベスト4に2校残り、藤代高校が甲子園に出場した。また、初めての名誉市民に木内幸男氏がなっている。さらに取手市出身のプロ野球選手もたくさんいる。このような方々の力を借りて、推進委員会を立ち上げ、高校野球や、プロ野球の試合が年間何試合かできるような野球場をつくってほしいかがか。

教育部長 公式戦を行う対応可能な野球場は、藤代スポーツセンター内にある野球場のみである。高校野球の予選とかプロ野球の試合を行うためには、現状の野球場は両翼が91メートルであるが、95メートルまで拡幅が必要になる。さらに観客席と駐車場も整備しなければならぬ。

問 市内の子どもたちに夢を与えるため、市内にある女子校を除く5つの高校で、大会を開催してはどうか。観客が2万人ぐらいは

入れるようなスタンドをつくり、みんなが応援にいくような野球場をつくってはどうか。

答 現実問題、クリアすべきものがたくさんある。

どこに設置？ 防犯ステーション

山野井 隆 議員

問 検討中の防犯ステーションの設置場所は。

総務部長 白山交番の新設、そして井野交番の廃止となった現状を踏まえ、茨城県警とも協議を行い、おむね井野交番のあった地区で検討を進めている。

問 防犯ステーションの運営と業務内容はどのようなことを行うのか。

総務部次長 元警察官を含めた6名の中から毎日2名ずつの3班により、午後1時から午後10時を予定。防犯ステーションにいるだけでなく、青色パトロールカーによる巡回等も行う。

問 ランニングコストの内訳はどのようになるのか。

答 従事していただく方々の人件費と、施設については新設ではなく、空き店舗等の活用をするための借上げ料を予算計上した。

問 防犯ステーションの事業効果は。

答 周辺の市民の方々だけでなく安心感を得られることができるかが一番の目的である。効果的な立ち番や巡回パトロールの基地局として活用していく。自主防災・防犯組織や警察官の立寄所となることによる抑止力が期待できる。

問 市民の安全を守るためには。

市長 見守り協定をキャノン事業所・取手警察署・市の三者で結び、防災・防犯を充実させることにより、ごみの不法投棄の抑止力にもつながり、子どもへの教育面で支援効果もある。しっかり取り組んでいく。

ここも見てって



取手市議会では、本会議の生中継を行っております。インターネットに接続できるパソコンをお持ちの方は、取手市役所ホームページからご覧いただけます。

また、本会議の録画配信も行っております。

さらに、過去の本会議会議録や委員会記録を検索・閲覧できる「会議録検索システム」もありますので、ご利用ください。